

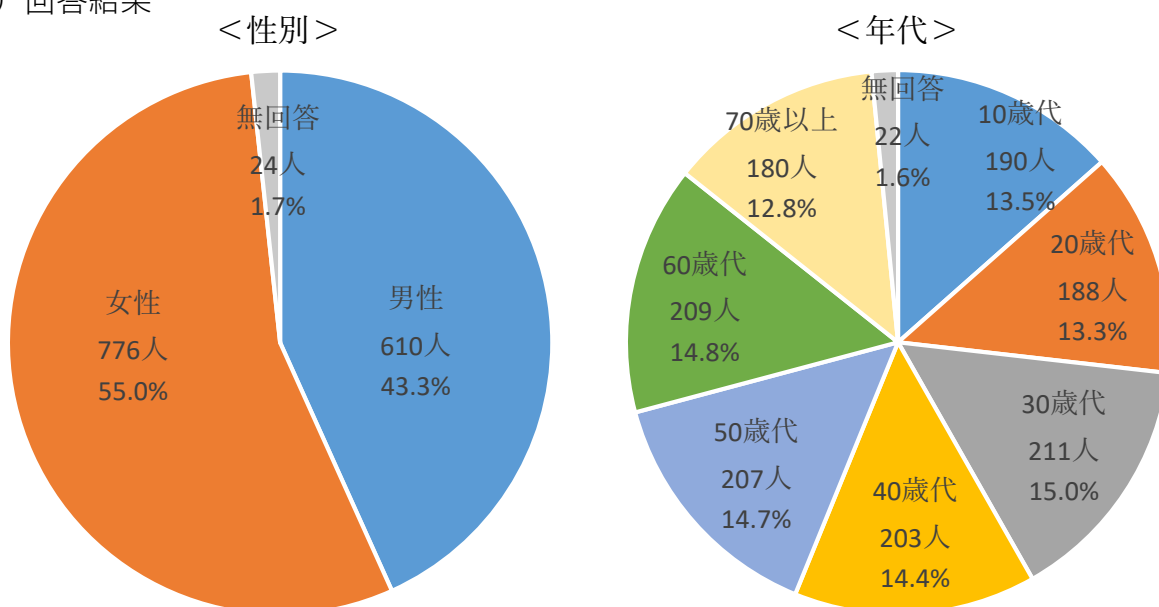
■市民アンケート調査結果分析

1 調査概要

(1) 調査の実施状況

調査対象	高校生以上の市民
調査数	4,000 件
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布回収
調査期間	平成 31 年 2 月 15 日～3 月 5 日
送達数	3,999 件
回収数	1,410 件
回答率	35.3%

(2) 回答結果



(3) 満足度、重要度の数値化

各施策項目の選択肢に得点を付け、満足度及び重要度の評価点を算出する。これによって、市民の満足度及び重要度意識を明確に捉え、分析することができる。なお、各選択肢への点数の配分は下記のとおりである。

満足度	重要度	ポイント
そう思う	重要である	+ 2
どちらかというと思う	どちらかという重要である	+ 1
どちらかというと思わない	どちらかという重要ではない	- 1
そう思わない	重要ではない	- 2
どちらでもない、無回答	分からない、無回答	± 0
最小値～最大値		▲ 2. 0 0～2. 0 0

《計算式》

$$\text{満足度} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 + \text{「どちらかというと思う」} \times 1 + \text{「どちらかというと思わない」} \times (-1) + \text{「そう思わない」} \times (-2)}{\text{「どちらでもない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」} \times 2 + \text{「どちらかという重要である」} \times 1 + \text{「どちらかという重要ではない」} \times (-1) + \text{「重要ではない」} \times (-2)}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

2 満足度の評価点

評価点がプラスとなったものは 28 項目、マイナスとなったものは 19 項目であった。なお、満足度の評価点は 30 以上の項目で向上している。

